



大和ミュージアム開館20周年記念基調講演・シンポジウム 開催について

大和ミュージアムは、施設や展示を充実させ令和8（2026）年4月23日（木）にリニューアルオープンいたします。

リニューアルオープンを前にして、3月28日（土）に開館20周年を記念した「基調講演・シンポジウム」を開催いたします。

基調講演並びにシンポジウムを通じて終戦80年という時間の経過を改めて意識していただくとともに、「歴史」の継承に関わる活動をしてきた方々に思いを語っていただきます。失われつつある人々の「記憶」をいかに未来へ継承していくのか、大和ミュージアムが果たすべき役割も含め、共に考えていきます。

1 催事名

大和ミュージアム開館20周年記念基調講演・シンポジウム
終戦80年を超えて これからの歴史の伝え方を考える
～忘れられない「記憶」を忘れてはならない「歴史」に～

2 日時

令和8（2026）年3月28日（土）
12：30 開場
13：30 開演
13：35 第1部 基調講演
（休憩）
14：20 第2部 シンポジウム
15：50 終演

3 場所

呉信用金庫ホール（呉市中央3丁目10番1号）

4 参加方法等

- （1）料金：無料
- （2）定員：1,000名様
（先着順、事前申込制、応募人数に達し次第応募受付終了）
- （3）応募方法：Webサイトの専用フォームより応募



専用フォーム

5 内容

<第1部 基調講演>

テーマ：私が見た太平洋戦争と戦後復興

講演者：石坂 浩二氏（俳優・大和ミュージアム名誉館長）

<第2部 シンポジウム>

テーマ：大和ミュージアム開館20年 これからの歴史の伝え方を考える

モデレーター：池上 彰氏（ジャーナリスト）

パネリスト：石坂 浩二氏（俳優・大和ミュージアム名誉館長）

梯 久美子氏（ノンフィクション作家）

戸高 一成（大和ミュージアム館長）

6 主催／後援

主催：呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）

後援：広島テレビ

2026
3.28 Saturday

呉信用金庫ホール

737-0051 広島県呉市中央3丁目10番1号

開催時間 12:30開場 13:30開演 15:50終演

応募方法 WEB申込

右配の二次元バーコードよりお申込みください

ご応募は一人様のメールアドレスにつき2名までとさせていただきます。



入場方法 自動返信メールのご提示

申し込み後の自動返信メールが入場券代わりとなります。当日は、そのメールまたは印刷した紙を受付にてご提示ください。

入場無料

先着
1000名様

※事前申込制

第1部

基調講演 13:35～

テーマ:私が見た太平洋戦争と戦後復興

石坂 浩二氏(俳優・大和ミュージアム名誉館長)

4歳で終戦を迎えた石坂浩二氏に、その目と耳で見聞きした日本の姿をお話しいたします。

第2部

シンポジウム 14:20～

テーマ:大和ミュージアム開館20年 これからの歴史の伝え方を考える

モデレーター:池上 彰氏(ジャーナリスト)

パネリスト:石坂 浩二氏(俳優・大和ミュージアム名誉館長)/梯 久美子氏(ノンフィクション作家)/戸高 一成氏(大和ミュージアム館長)

第1章 終戦から80年を経て～時代別、戦争の歴史の伝え方の変遷を振り返る～

第2章 大和ミュージアムと呉

第3章 戦後100年、その先に向けて～これからの継承を考える～

司会 広島テレビアナウンサー 宮脇 靖知

プロフィール



俳優・大和ミュージアム名誉館長
石坂 浩二 (いしがか・こうじ)

1962年にテレビドラマ「七人の刑事」(TBS)でデビュー、TBS「ありがとう」シリーズや、NHK大河ドラマ「天と地と」「元禄太平記」「草燃える」で主演を務めるなどし、人気を得る。1976年映画「犬神家の一族」の金田一耕助役で主演。また、市川崑監督作品の「細雪」「おぼん」など多数出演。博学として知られ、司会者、クイズ番組の解答者としても活躍。



ジャーナリスト
池上 彰 (いけがみ・あきら)

慶應義塾大学を卒業し、NHKに記者として入局。1976年、広島放送局呉通信部に赴任。呉で戦艦大和や被爆者問題取材。首都圏向けニュースのキャスターや、「週刊こどもニュース」キャスターを務め、2005年に独立。現在は「角川武蔵野ミュージアム」館長、名城大学教授、立教大学客員教授、東京科学大学特命教授、東京大学客員教授など7つの大学で教える。



ノンフィクション作家
梯 久美子 (かけはし・くみこ)

北海道大学卒。編集者をへて、デビュー作「散るぞ悲しき 硫黄島総指揮官・栗林忠道」(新潮文庫)で大宅賞。「狂うひと」「死の棘」の妻・島尾ミホ(同)で読売文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞。近現代史における戦争と人間というテーマを一般読者に向けて執筆し、小、中、高それぞれの国語教科書に作品が掲載されている。



大和ミュージアム館長
戸高 一成 (とたか・かずしげ)

著書に「戦艦大和復元プロジェクト」「戦艦大和に捧ぐ」「聞き書き・日本海軍史」「証言録」海軍反省会(第67回菊池寛賞受賞)「日本海軍戦史」「日本海軍失敗の本質」編・監訳に「戦艦大和・武蔵 設計と建造」「秋山真之の戦術論集」「マハン海軍戦略」。共著に「日本海軍史」「日本陸海軍事典」「日本海軍はなぜ過ったか」を執筆。

お問合せ先

大和ミュージアム・入船山記念館運営グループ
737-0046 広島県呉市中通1丁目1番2号ビューポートくれい2階
TEL:0823-25-3017

主催 呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)
後援 広島テレビ

大和ミュージアム開館20周年記念

基調講演・シンポジウム